



浅川カ三 県政だより

誠意・熱意・創意・勇気を持って「熱き心の郷土愛」

「北杜の、山梨の未来を創ろう」



11月5日「増富もみじ祭りウォーク」は約1000名の参加者が紅葉を堪能。アフリカ大陸最高峰のキリマンジャロに9月に初登頂した小学校6年の伴野嶺さんも参加しました



9月30日・10月1日「グランfondピナレロハケ岳with グラベル2023」には約800名が参加、株式会社 裕源 代表取締役社長 謝 明達氏へ感謝状を贈呈



10月29日「秋の旧甲州街道を歩こう」は約400名の参加者が武川・白州の町並みを街を楽しみました



10月22日「ほくと馬のまち祭り～信玄棒道ウォークとホースショー-inこぶちさわ」は、約3000名の来場者でした



10月15日「ハケ岳トレイルラン」雨の中約150名の参加者が健脚を競いました



11月4日須玉地区の方々50名以上おが参加された「タウンミーティング」は貴重な意見交換でした

皆様には、日々の活動に対しご理解とご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

先ずもって、秋の叙勲、褒章を受賞された皆様、県政功績者表彰を受けられる皆様のご功績に対しまして、深甚なる敬意を表する次第であります。

現在、ロシアによるウクライナ侵略により、1万人もの市民が犠牲になっています。

私は、ロシア軍の蛮行は人間として断じて許されず、日本政府によるウクライナへの人道支援やロシアへの制裁措置が、これからも切れ目なく行われることを強く希望しています。

一方で、イスラエルとパレスチナの紛争が勃発するなど、世界規模の激動は我が国の経済や生活に大きな影響を及ぼしています。

例えば、農業とりわけ酪農・畜産業に欠かせない飼料や肥料は、世界的な穀物需要の増加やエネルギー価格の上昇などにより価格が急騰しています。このままでは経営が続けられなくなる恐れがあり、私は、酪農・畜産農家の経営安定に向けた支援が積極的に行われ、持続的な経営を実現することができるよう努めてまいり所存です。

さて、中部横断自動車道のうち未整備区間である長坂JCTから八千穂高原ICについて、国から具体的なルート案が示され、10月24日から29日の間、住民説明会が開催されました。

言うまでもなく、中部横断自動車道の未整備区間の整備は地域の悲願であり、私も地域住民の皆様とともに、要望や陳情などの活動を続けてまいりました。

山梨大学の武藤教授によれば、全線開通すると年間で297億円の経済効果があり、物流の改善や観光の活性化に加え、農業生産の面からも地域の活性化などが期待されるとのことです。

加えて私は、災害発生時に代替路が確保されること

で迅速な復旧が行われること、また、広域的な救急搬送の際に救命率の向上が図られることなど、「県土の強靱化」や安全・安心の暮らしづくりに貢献することができると確信しています。

今後とも、長野県を含む沿線住民の皆様とともに、全線開通の早期実現に向けて、全力で取り組んでまいります。



山梨総合計画に賛成討論

ところで、令和14年

(9年後)の第86回国民スポーツ大会(現国民体育大会)及び第31回障害者スポーツ大会が山梨県内で開催されることが内々定しました。

山梨県での開催は、昭和61年の「かいじ国体」以来であり、その際に整備された小瀬スポーツ公園や富士北麓公園は、現在、本県スポーツ振興の拠点となっています。

長崎知事は、「共生社会の実現」と「持続可能性」に重点を置いた大会を目指していますが、私も、この大会が山梨県の過去と未来をつなぐものとして有意義に開催されることを期待するものです。

これからも、北杜の、山梨の未来のため、役割を果たすことができるよう力の限りを尽くして参りますので、皆様のご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げます。

浅川カ三プロフィール

昭和22年7月8日生
昭和41年/須玉商業卒業
昭和45年/拓殖大学卒業
昭和49年/昭和薬科大学卒業
平成10年/高根町議会議員 初当選
平成13年/高根町議会副議長
平成15年/県議会議員 初当選
平成17年/決算特別委員長
平成18年/出資法人調査特別委員長
平成19年/
農政商工観光委員長企業会計決算特別委員長
平成20年/総務委員長
平成21年/第105代県議会副議長

平成23年/第120代県議会議長
平成26年/予算特別委員長
平成27年/リニア議連研究委員会 委員長
平成28年/山梨県監査委員
■地域振興
昭和59年/ハケ岳青年会議所
創立メンバー 副理事長
平成9年/清里小学校PTA会長
平成16年/清里観光振興会長
平成18年/山梨県雪合戦連盟会長
北杜肝友会 相談役
平成21年/北杜ライオンズクラブ 会長
オール山梨青年会議所シニア会長

公益社団法人やまなし観光推進機構 副会長
平成22年/県共同募金会 会長
県緑化推進機構 会長
平成23年/産業技術短期大学校 後援会長
平成25年/NPO法人 ポールラッシュの会 会長
一般社団法人 北杜市観光協会 会長
平成26年/山梨県鉄道協会 会長
第10回ヤーコンサミットinハケ岳会長
平成27年/県自転車競技連盟 会長
県都市計画審議委員
平成28年/県立北杜高等学校同窓会 会長
平成30年/東京オリンピック・パラリンピック
山梨県実行委員会副会長

令和5年9月定例会 農政産業観光委員会（10月5日）

浅川力三委員 質問答弁と意見



問) 6月定例会の代表質問で、配合飼料価格の高騰等によりやむなく離農する畜産農家が出ている状況を受け、持続可能な酪農経営について質問した。

この代表質問の後、地元の酪農・畜産農家の方々と行った意見交換会で要望があったヘルパー制度について、9月補正予算に計上された事業の内容について伺う。

答) 酪農では、毎日の朝夕の搾乳作業に加え昼間も作業があるため、休暇を取ることが大変難しいが、ヘルパーが作業を代行する酪農ヘルパー制度により休暇を確保している。

他の畜種ではそういった制度がないことから、他の畜種でもヘルパーとして活動ができるように育成に必要な研修経費等の支援をする。

ヘルパー制度を全畜種へ拡大することにより、酪農以外の畜種でも労働環境が改善されると考えている。

(浅川力三委員) 本事業により、畜産農家の労働環境が改善され、持続可能な畜産経営を実現していただくとともに、ヘルパー制度を通じて若い人たちが技術を習得することで、酪農・畜産の担い手として人材の確保につながることを期待している。

今回は臨時的な予算であったが、来年度以降も継続した支援を期待する。

問) 山梨県馬術競技場馬場整備費業について、ふるさと納税による寄附金を財源に、どのような整備を行うのか。

答) 障害競技用馬場の水はけが悪く競技団体等から改善を求める声があることから、これまでの一般的な砂をクッション性の高い砂に入れ替えるとともに、排水設備の工事を行うこととしている。

これによって雨の影響で馬が滑るリスクが低くなり、より高いパフォーマンスを発揮することができるものと考えている。

改修によりコンディションが上がることから、国体、ひいてはさらなる全国規模の大会の誘致が見込まれる。



(浅川力三委員) この競技場はクロスカントリーコースも有する国内有数の馬術競技場であり、日本一の馬術競技場だと自負している。

9年後の国体を目指す中での整備であり、今後、より多くの大会が開催され、本県の馬事振興と地域の活性化につながることを期待する。



8月22日 高根町上黒沢/河川の現地調査



8月27日 高根町長沢/現地調査



9月20日 ベトナム クアンビン議員団と交流



9月7日 中部横断自動車道整備促進「開(甲斐)の国」前進大会での意見発表(アルカディア)



10月17日 長崎知事に中部横断自動車道の早期着工要望を5,908名の署名と共にを行いました



山梨建設新聞提供



10月16日 明野町・須玉町 うなぎ沢/現地調査



10月23日 山梨県日韓親善協会が設立され顧問に就任しました



10月24日 忠清北道議会代表团が表敬訪問されました



10月25日 2023ROUTE日本海-太平洋促進大会での意見発表/参加者は約400名



10月20日・23日・24日 決算特別委員会（11月15日・16日総括審査）



11月1日 白州町横手/道路現地調査



11月1日 市政施行19周年記念式典



11月2日 酪農要望書を長崎知事に提出